



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日
上場取引所 東・名

上場会社名 株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ
コード番号 8306 URL <http://www.mufig.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 平野 信行
問合せ先責任者 (役職名) 財務企画部 主計室長 (氏名) 福永 洋 (TEL) 03-3240-3110
四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 —
特定取引勘定設置の有無 有
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----------|------|---------|------|---------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 1,301,827 | △1.2 | 394,944 | △6.1 | 240,491 | △5.8 |
| 26年3月期第1四半期 | 1,317,382 | 9.8 | 420,646 | 23.5 | 255,287 | 39.6 |

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 541,208百万円(103.8%) 26年3月期第1四半期 265,548百万円(7.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-----------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第1四半期 | 16.98 | 16.89 |
| 26年3月期第1四半期 | 18.03 | 17.96 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------------|------------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 259,395,183 | 14,774,122 | 4.9 |
| 26年3月期 | 258,131,946 | 15,112,895 | 5.1 |

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 12,762,263百万円 26年3月期 13,056,060百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 7.00 | — | 9.00 | 16.00 |
| 27年3月期 | — | — | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | 8.00 | — | 8.00 | 16.00 |

(注1) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の予定はありません。

3. 平成27年3月期の連結業績目標(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

平成27年3月期の連結当期純利益は9,500億円を目標としております(平成26年5月14日公表の目標値から変更ありません)。

(当社グループは、銀行業、信託銀行業、証券業、クレジットカード・貸金業等の金融サービス業を展開しておりますが、これらの業務には、経済情勢、相場環境等に起因するさまざまな不確実性が存在するため、業績予想に代えて、連結当期純利益の目標値を記載しております。)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】2ページ「1.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-----------------|--------|-----------------|
| 27年3月期1Q | 14,166,017,820株 | 26年3月期 | 14,164,026,420株 |
|----------|-----------------|--------|-----------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|------------|--------|------------|
| 27年3月期1Q | 2,562,646株 | 26年3月期 | 2,554,673株 |
|----------|------------|--------|------------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-----------------|----------|-----------------|
| 27年3月期1Q | 14,162,158,915株 | 26年3月期1Q | 14,155,716,167株 |
|----------|-----------------|----------|-----------------|

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれていません。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものを参照ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 2 |
| (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |
| (5) 追加情報 | 8 |

(補足説明資料)

平成 27 年 3 月期 第 1 四半期決算説明資料

1. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計基準等の改正に伴う会計方針の変更）

（退職給付に関する会計基準）

企業会計基準第26号「退職給付に関する会計基準」（平成24年5月17日 企業会計基準委員会。以下、「退職給付会計基準」という。）及び企業会計基準適用指針第25号「退職給付に関する会計基準の適用指針」（平成24年5月17日 企業会計基準委員会。以下、「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が58,569百万円減少、退職給付に係る負債が1,594百万円減少し、利益剰余金が37,224百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ410百万円増加しております。

（企業結合に関する会計基準）

企業会計基準第21号「企業結合に関する会計基準」（平成25年9月13日 企業会計基準委員会。以下、「企業結合会計基準」という。）、企業会計基準第22号「連結財務諸表に関する会計基準」（平成25年9月13日 企業会計基準委員会。以下、「連結会計基準」という。）、及び企業会計基準第7号「事業分離等に関する会計基準」（平成25年9月13日 企業会計基準委員会。以下、「事業分離等会計基準」という。）等が平成26年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等（ただし、連結会計基準第39項に掲げられた定めを除く。）を適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（3）、連結会計基準第44-5項（3）及び事業分離等会計基準第57-4項（3）に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の当第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、のれん（無形固定資産）266,925百万円及び資本剰余金346,454百万円が減少するとともに、利益剰余金が95,134百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4,750百万円増加しております。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|--------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 現金預け金 | 23,969,883 | 27,390,625 |
| コールローン及び買入手形 | 826,851 | 624,803 |
| 買現先勘定 | 7,237,125 | 6,971,171 |
| 債券貸借取引支払保証金 | 4,181,660 | 5,976,676 |
| 買入金銭債権 | 3,972,145 | 4,128,766 |
| 特定取引資産 | 19,055,354 | 18,354,943 |
| 金銭の信託 | 583,692 | 635,319 |
| 有価証券 | 74,515,573 | 72,037,761 |
| 貸出金 | 101,938,907 | 102,075,985 |
| 外国為替 | 2,040,406 | 2,068,176 |
| その他資産 | 8,809,286 | 8,241,375 |
| 有形固定資産 | 1,540,031 | 1,582,165 |
| 無形固定資産 | 1,483,352 | 1,204,946 |
| 退職給付に係る資産 | 460,836 | 423,871 |
| 繰延税金資産 | 130,654 | 85,731 |
| 支払承諾見返 | 8,324,668 | 8,521,372 |
| 貸倒引当金 | △938,483 | △928,509 |
| 資産の部合計 | 258,131,946 | 259,395,183 |
| 負債の部 | | |
| 預金 | 144,760,294 | 144,298,434 |
| 譲渡性預金 | 15,548,170 | 15,304,561 |
| コールマネー及び売渡手形 | 3,465,414 | 3,933,473 |
| 売現先勘定 | 21,626,590 | 21,079,682 |
| 債券貸借取引受入担保金 | 5,534,643 | 4,836,192 |
| コマーシャル・ペーパー | 1,473,631 | 1,570,504 |
| 特定取引負債 | 13,964,961 | 13,105,328 |
| 借入金 | 10,828,601 | 11,675,033 |
| 外国為替 | 1,109,198 | 1,579,983 |
| 短期社債 | 435,808 | 493,013 |
| 社債 | 7,165,577 | 6,993,153 |
| 信託勘定借 | 1,945,151 | 1,853,827 |
| その他負債 | 5,965,086 | 8,452,217 |
| 賞与引当金 | 78,987 | 27,861 |
| 役員賞与引当金 | 627 | 73 |
| 退職給付に係る負債 | 51,651 | 50,126 |
| 役員退職慰労引当金 | 1,201 | 898 |
| ポイント引当金 | 13,541 | 13,884 |
| 偶発損失引当金 | 247,351 | 221,853 |
| 特別法上の引当金 | 2,853 | 3,053 |
| 繰延税金負債 | 320,014 | 451,654 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 155,026 | 154,875 |
| 支払承諾 | 8,324,668 | 8,521,372 |
| 負債の部合計 | 243,019,051 | 244,621,060 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 資本金 | 2,140,488 | 2,140,921 |
| 資本剰余金 | 2,174,384 | 1,438,171 |
| 利益剰余金 | 7,033,125 | 7,195,082 |
| 自己株式 | △1,699 | △1,703 |
| 株主資本合計 | 11,346,299 | 10,772,471 |
| その他有価証券評価差額金 | 1,218,397 | 1,541,808 |
| 繰延ヘッジ損益 | 8,295 | 45,884 |
| 土地再評価差額金 | 157,776 | 157,776 |
| 為替換算調整勘定 | 407,229 | 321,011 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △81,937 | △76,688 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,709,760 | 1,989,791 |
| 新株予約権 | 8,732 | 8,079 |
| 少数株主持分 | 2,048,101 | 2,003,780 |
| 純資産の部合計 | 15,112,895 | 14,774,122 |
| 負債及び純資産の部合計 | 258,131,946 | 259,395,183 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 経常収益 | 1,317,382 | 1,301,827 |
| 資金運用収益 | 558,555 | 633,171 |
| (うち貸出金利息) | 384,617 | 419,634 |
| (うち有価証券利息配当金) | 128,000 | 131,928 |
| 信託報酬 | 24,935 | 24,844 |
| 役務取引等収益 | 318,034 | 331,310 |
| 特定取引収益 | 82,173 | 59,513 |
| その他業務収益 | 233,104 | 143,362 |
| その他経常収益 | 100,577 | 109,624 |
| 経常費用 | 896,735 | 906,882 |
| 資金調達費用 | 117,204 | 142,470 |
| (うち預金利息) | 46,805 | 65,749 |
| 役務取引等費用 | 47,238 | 46,746 |
| 特定取引費用 | 632 | - |
| その他業務費用 | 102,793 | 35,536 |
| 営業経費 | 576,111 | 635,681 |
| その他経常費用 | 52,756 | 46,447 |
| 経常利益 | 420,646 | 394,944 |
| 特別利益 | 1,374 | 221 |
| 固定資産処分益 | 1,374 | 221 |
| 特別損失 | 28,230 | 34,209 |
| 固定資産処分損 | 871 | 575 |
| 減損損失 | 457 | 142 |
| 金融商品取引責任準備金繰入額 | 193 | 199 |
| 持分変動損失 | - | 33,291 |
| 和解金 | 24,537 | - |
| 子会社株式売却損 | 2,170 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 393,790 | 360,957 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 98,062 | 81,210 |
| 法人税等調整額 | △2,603 | 16,496 |
| 法人税等合計 | 95,459 | 97,707 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 298,331 | 263,250 |
| 少数株主利益 | 43,043 | 22,759 |
| 四半期純利益 | 255,287 | 240,491 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|------------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 298,331 | 263,250 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △215,401 | 317,124 |
| 繰延ヘッジ損益 | △44,884 | 38,081 |
| 土地再評価差額金 | △22 | - |
| 為替換算調整勘定 | 130,986 | △61,769 |
| 米国会計基準適用子会社における年金債務調整額 | △3,797 | - |
| 退職給付に係る調整額 | - | 4,911 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 100,335 | △20,388 |
| その他の包括利益合計 | △32,782 | 277,958 |
| 四半期包括利益 | 265,548 | 541,208 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 220,527 | 520,894 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 45,020 | 20,314 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間より、退職給付会計基準等及び企業結合会計基準等を適用しております。これに伴う影響については、2ページ「1. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(5) 追加情報

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。